

会報 No.322



キャリア・コンサルタント

2022年（令和4年）1月10日

[発行] キャリア・コンサルタント協同組合

発行責任者：渡邊 健三

〒102-0052 東京都千代田区神田小川町 1-8-3
小川町北ビル 8F

Tel: 03-3256-4167 (代表)

直通電話：営業本部 03-6821-7544

：外国人材受入事業部

03-6826-7789

Fax: 03-3256-4168

E-mail: [会報編集部] henshu@ccco.jp

[事務局] jimukyoku@ccco.jp

[営業本部] eigyo@ccco.jp

URL : <http://www.occ.or.jp>

<http://www.ccco.jp>

編集長：田中 努

編集者：平松靖弘 影山和子 大野長壽

中野 忠 福田秀樹

謹賀新年

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. 謹賀新年 | 理事長 渡邊 健三 |
| 2. 新年のあいさつ | 副理事長 神力 愛晴 |
| 3. 今年の干支壬寅に一言 | 副理事長 大野 長壽 |
| 4. 事務局長就任にあたって | 理事 宮坂 武彦 |
| 5. 2022年 念頭に思うこと | 理事 岡崎 充徳 |
| 6. 仕事に生きる禅の言葉 | 理事 荻野 徹 |
| 7. 2022年の新年ひと言 | 監事 中野 忠 |
| 8. 記憶に残る西部劇その2「アパッチ砦」 | 小泉 幾多郎 |
| 9. こころの落し文第5回「戦後の食糧難」 | 田園 忠児 |
| 10. 事務局だより | 事務局 |

一粒万倍

1. 謹 賀 新 年

理事長 渡邊 健三

新年明けましておめでとうございます。

三が日ずっと好天に恵まれ、清々しい気分です。

昨年は正月からコロナの感染急拡大がありましたが、またまた同じことが起こってくるような情勢です。コロナとの共生は不可避であり、人間がどのように対応するかが問題のように思います。こうした場合、優先順位のつけ方と実行力でその後の国のあり様が全く変わってくるものと考えます。その意味では日本のコロナ対応策としての鎖国政策、コロナ撲滅作戦は世界からするときわめて異質なものと感じられます。

このまま新型コロナウイルス感染拡大が続くようであれば、緊急事態宣言、飲食店の営業自粛・宴会会食自粛の要請になっていくのではないかと危惧します。

さらに気がかりなことは、最近の急速な円安傾向です。政治家もメディアも何も騒いでいないようですが、これは日本の価値の低下を意味しています。海外から日本に働きに来ている人にとっては、賃下げを意味します。日本から海外に行つたとなれば、今までの相当する円額では足りないこととなります。私が 20 代の頃に経験した時代に戻ってしまう感じでしょうか。外国人材事業において大きな悪影響を及ぼすことにつながっていくものと考えています。

さて当組合におきましては、組合員および関係者の皆さまから引き続き様々な活動を通じて、組合に多大なる貢献をいただき大変ありがとうございました。このまま推移すれば、新型コロナウイルスの影響を大いに受けながらも、当組合の決算は昨年度に続き黒字の状況で今年度を終了することができる見通しです。

最後に、繰り返しになりますが、当組合では、やはりなんといっても会員増強が第一です。皆様におかれても機会あるごとに新規組合員の加入を推進していただければ幸いです。世代交代も着実に進める必要があります。そして、来年度は今まで以上に厳しい環境になると思われませんが、事業拡大による組合財政基盤の強化、安定化が最重要課題となります。

組合活動へのご協力、ご支援を本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2. 新年のあいさつ

副理事長 神力 愛晴

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。
ささやかながら、本年の抱負を述べさせていただきます。

本年は、長年にわたって取り組んできた、念願の CLT 製造装置が完成します。
CLT とは Cross Laminated Timber 直交集成材の略で、木材の板を直交に重ね接着し、高層建築物の構造材になり、これまでの鉄骨に代わるものです。

従来の鉄骨構造材は CO2 ゼロにするため、水素高炉方式により 3 倍以上の価格になると予想されます。木材は国内自生のため価格は鉄より安価となります。

私は技術コンサルタントとして長年にわたり製造企業の技術アドバイスをしてきました。その中の一企業が趣旨に賛同していただき、数年に渡って研究を重ねて昨年末、やっと設計図が完成したものです。直交集成材 CLT の標準サイズは巾 1 m × 長 2.5 m × 厚 30 cm、重さ 100 kg です。従って、これを作る機械装置は数メートル四方の大きさとなります。これが完成しますと、国産初の装置となります。これまではヨーロッパより輸入でしたので、国産化の意義も大きいです。

本年はこれを市場に供給して、温暖化対策の一助とする所存です。皆様の助言も、よろしくお願ひいたします。

3. 今年の干支壬寅に一言

副理事長 大野 長壽

あけましておめでとうございます。2022 年の干支は壬寅(みずのえとら)、果たしてどんな年になるのだろうか。干支で世の理(ことわり)を見てみましょう。壬寅「陽気を孕み、春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるということらしい、どんなことがあるかなと、見てみますとこれかな。

理化学研究所の研究グループは、季節性コロナウイルス(風邪)に対する記憶免疫キラー T 細胞が新型コロナウイルスにも反応することを突き止めた。

2021 年 12 月 8 日、清水佳奈子上級研究員、藤井眞一郎チームリーダーらが科学雑誌『Communications Biology』オンライン版に掲載しました。

URL: <https://www.nature.com/articles/s42003-021-02885-6>

◆原論文は 2021 Dec 2;

NIH National Library of Medicine (アメリカ国立医学図書館)

Identification of TCR repertoires in functionally competent cytotoxic T cells cross-reactive to SARS-CoV-2

URL: <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34857854/>

新型コロナウイルスと言われている (SARS-CoV-2) の研究で、ワクチン接種者や既感染者について調べることで、得られた結果がブレークスルー感染や重症化の予防の指標になると考えられ、また、今回同定したホットスポットは、記憶免疫キラーT細胞を SARS-Cov-2 に向かうようにさせるキラーT細胞型ワクチンになり得ると考えられているので、例えばワクチン抵抗性者の治療法の開発に貢献することが期待できると発表しています。従来型ウイルスから日本を守ったファクターX とは何かで、以下理研 URL : https://www.riken.jp/press/2021/20211208_1/#note1 から要約しました。

2020 年以降、新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) による新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のパンデミックが続いています。SARS-CoV-2 の表面に存在するスパイクタンパク質 (S タンパク質) を使ったメッセンジャーRNA (mRNA) ワクチン等が開発され、明確な効果が示されているが終息には至っていません。一方で、日本人の COVID-19 の感染者数や死亡者数の割合は欧米に比べて低いことが知られていますがその理由は不明です。ヒトの体内に存在する季節性コロナウイルス ((HCoV)、1960 年以降 4 種類 (OC43、229E、NL63、HKU1)) に対する「記憶免疫キラーが認識する抗原部位を発見し、その部位が新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) の S タンパク質領域にも強く交差反応することを示しました。これは、キラーT細胞は一度感染したウイルス (抗原) を記憶、そのウイルスが再び侵入した際に抗原の配列の一部 (エピトープ) を認識して感染細胞を攻撃する。今回、新型コロナウイルス・エピトープ「Q Y I ペプチド」が季節性コロナウイルス・エピトープと高い相同性があった。また、季節性コロナウイルス記憶免疫キラーT細胞が新型コロナウイルスによって誘導される効率は、健常者は高く、造血器腫瘍患者は極めて低かった。重要な免疫機構の担い手であるキラーT細胞は感染を防げなかった場合に発動。生命を危険にさらすウイルス感染細胞、がん細胞、異物などを個別に記憶して特異的に傷害活性を示すキラーT細胞も存在する。今回、日本人に多いタイプのヒト白血球型抗原 (HLA) と親和性が高い新型コロナウイルスのエピトープを新型コロナウイルス感染細胞を用いて絞り込んだ。具体的にはがんに対するT細胞評価系を改良、新型コロナウイルスに対する解析系を樹立。これをヒトのほぼすべての細胞が持つHLAに適用した。新型コロナウイルス感染症の診断、治療につながる新たな見解が期待されます。

以 上

4. 事務局長就任にあたって

理事・事務局長 宮坂武彦

事務局長でありました平松常務理事が昨年12月末で辞任されたことにより、本年1月から事務局長に就任することになりました。当組合設立から26年が経過し、現在27期目の会計期間が進行中であります。2021年度決算においては、83百万円の売上を計上しており、コロナ禍で諸外国との往来がままならない状況ではありますが、二・三年のうちに1億円を突破できると思われま

す。過去を振り返りますと、設立当初から繰越欠損金を抱えておりましたが、外国人技能実習生受入事業が軌道に乗ってからは欠損金が漸減し、2018年には繰越欠損金は解消されました。この間、資金が枯渇し、月末の支払資金にも困窮する状態が続いたこともありました（この時期に事務局長をしていなくてよかった！）。なお、過去5年間の決算数値は、下表のとおり推移しており、比較的安定した状況にあります。

[決算数値の推移]

(単位：千円)

項目	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
売上高	38,447	49,935	56,246	63,093	83,996
税前利益	521	550	726	603	934
現預金残	12,511	20,928	19,164	20,267	24,621
純資産額	3,763	4,534	5,059	5,495	6,217

さて、私が当組合に加入いたしましたのが、2010年11月で、当初は請負業務にたずさわっておりましたが、しばらくしてから外国人実習生受入事業にも参画させていただき現在に至っております。

これからは、当組合の発展継続のため、事務局長として取り組むべき事項に対し、改善策への提案力を高め、組織的・効率的な運営と次世代への橋渡し役として尽力したいと考えております。

以 上

5. 2022年 年頭に思うこと

理事・営業本部長 岡崎 充徳

皆様 明けましておめでとうございます。

営業本部長に就任後一年半が過ぎました。その間、入札案件を中心に活動し売り上げは順調に推移しています。

これは榎木前営業本部長や神力さんが引いてくれたレールの上を皆様のご協力により走ってきただけだと思っています。言わば「他人の禪で相撲」を取っていただけだと思っています。

2022年は是非ともCCKのコンセプトである「中小企業の経営支援を行う」の原点に立ち返り「CCKコンセプト」を実行するための「新しいプラットフォーム」の構築に尽くしたいと思います。

これがCCKの次の時代につながる資産になると思います。

皆様の更なるご協力をよろしくお願いいたします。

最後に組合員の皆様のご健康とご発展をお祈りいたします。



2022年1月6日 賀詞交歓会



2021年12月28日 納会

6. 仕事に生きる禅の言葉

理事 荻野 徹

1. はじめに

私と禅の出会いは、10年前に大企業を希望退職して、何の準備もなく世の中に出て、間もなくのことでした。禅の世界の言葉は、サラリーマン時代であったら何も価値を感じられないような言葉の連続でした。

サラリーマン時代の価値観は、常に人から評価されるという価値観であり、周りは極端に言えば全てライバルであり、如何に同期より上に評価されるかとかいった相対的評価の中で身に着けてきた価値観でした。

これは、もっと言えば、学校時代の相対的評価や受験競争といった中で、自分という存在が、人と比べて如何に上にいるかが、基本的な全ての価値観だったように思います。禅の世界に入ってというか、教えられたのは、自分なんていうものに価値はないという事でした。西洋価値観で教育され育てられ生きてきた自分には衝撃的でした。

こんな話をいきなり話すと何を言い出すのかとなってしまうので、あまり深入りしませんが、勿論、自己を高め、今までできなかったことができるようになることは、意味のあることですが、それが意味を成すのは、他人との差別化や比べるためではなく、それを接する人たちのために役立て、貢献できるように活かした時だけだという見方です。資格や学歴や地位があるからといって慢心しては意味が無いよということでした。会社組織のようなある程度守られた相対の世界では意味を成しても、一匹狼として生きていかなければならない実社会の絶対の世界では意味をなさないよという事でした。

こんな価値観を学ばせてもらった、禅の世界の言葉やそれに関するエピソードを、三つ程、切り口を変えながら紹介させていただきます。

2. 仕事に生きる禅の言葉とエピソード

(1) 放下着 (ほうげじゃく)

心穏やかにすごしたいのに、思うようにいかない。あるべき姿や、やるべきことに縛られて、毎日が息苦しい。それはもしかしたら、思い込みや決めつけ、執着が私たちに窮屈にしているのだと思います。そんな時は「放下着 (ほうげじゃく)」という禅のことばがあります。

いっさいの思慮分別を捨て去れば、心の重荷から解放され、穏やかになれるという教えです。「放下着」とは、「いっさいの執着を捨て去りなさい」という意味です。所有している物だけでなく、過去の経歴や成功体験、思い込みや決めつけといった思慮分別をも捨て去る。もう捨てるものがない、もはや捨てきったという自負までも捨てなさい、という意味が込められています。

欲の象徴である所有物、しがみついている過去のキャリア、依存している人間関係、必死に保ち続けているプライド、肩書、正しいと思っていること……。これらは人生を窮屈にする執着に他なりません。「こうすべき」「ねばならない」「これが正しい」という思い込みにとらわれていないでしょうか。良かれと思っていることでも、こういった「べき思考」は手間や負担を増やすだけです。「良い〇〇（夫、父親といった役割）であるべき」「こうするのが当たり前」というのも同じで、私たちの心を窮屈にさせてしまいます。

(2) 脚下照顧

この言葉は、禅寺の履物を脱ぐところによく掲げられている言葉です。「きゃっかしょうこ」と読み、我が身を振り返れという意味です。脚下とは足元のことを、照顧とは照らし顧みる、つまり行いを反省して顧みることを意味しており、自分自身をしっかりと顧みなさいということを行っている言葉です。

でも、私は、コンサルの時にこの言葉を使う時は、こうした意味でなく、次のように紹介しています。

「真っすぐ立って、足を少し開いて立って下さい。今、あなたが抱えている難問の解決策が、あなたの間にかくつも転がっています。いくつの解決策が見えますか。一つですか、二つですか？」

すると、

「三つぐらいですか？」の答え。

それに対し、「もうちょっと多いですよ、いくつだと思いますか？」、

「ウン」、

「禅的には、いくつだと、面白いと思いますか？」、

「うーん」、

「降参ですか。答えはね、百八。」。

「え、煩惱の数と同じ？」。

「そう、同じ。もう駄目だとあきらめて天を仰いだら何もできないけれど、ジッと自分の足元を見つめたら、できることやれることはいくらでもあるでしょうという事。そう思うと、あるでしょ、やればできること。それをやり抜いて行ったら、解決できそうもないことはないでしょ。」

「確かに、はい。」

(3)「自己をわするるといふは、万法に証せらるるなり」

この言葉は、道元が悟りの実現を意図して書いた「現状公案」の中の一節です。相田みつおも、いろいろ勉強されたという仏典です。

その部分は、「仏道をならふといふは、自己をならふ也。自己をならふといふは、自己をわするるなり。自己をわするるといふは、万法に証せらるるなり。万法に証せらるるといふは、自己の身心および他己の身心をして脱落せしむるなり。悟迹の休歇なるあり、休歇なる悟迹を長長出ならしむ。」の一部分として書かれています。

この言葉は、実際に夢中になって、我も忘れて、皆のためにと一心不乱になって頑張っている時、ふと気づかされる言葉のようです。

ある年、ある仕事をやり抜くために、一時的にまとまったお金が必要になりました。チームメンバーだけではどうしようもない状態で、資金ショートでプロジェクトが破綻する様が頭に浮かび絶望的な思いに襲われて、日々生きた心地がしませんでした。

プロジェクトをやり抜くために、客先の説得もでき、仕事を一緒に頑張ってくれる仲間もいるのに、間もなく資金ショートで破綻するプロジェクト。そんな思いで眠れない日々が続きました。

そんな時、一人で抱えないで皆に相談すればいいじゃないかという声を何人かの方がかけて下さいました。でも、こんなお願いを今までの人生の中でしたことが無かった自分には、ある程度まとまった金額で簡単には集められそうにない資金でした。協力要請の前に立ちはだかったのは、周囲の人が前例のない要請を本当に受け入れてくれるか信じられない自分でした。そんな時、ふと心に浮かんで、行動に向かわせてくれたのは、この現成公案の一節でした。「お前のくだらない心配や、失敗した時の恐怖とか、そんなお前の勝手な思いなんか手放して思い切って、仲間の皆に託してしまえ、そしてやるべき仕事をやり抜いて、皆に恩返しすればいいだけじゃないか。」とこの言葉は教えてくれていました。

一生懸命やって、我を忘れて場に尽くせば、場の方から支えてくれる。これが、この一節の本来の意味です。まさに、結果はその通りでした。この経験をさせて下さったのが、キャリア・コンサルタント協同組合の多くの皆さんでした。忘れられない尊い経験をさせていただきました。

ただの会社組織だったら、経験できない、上下関係でなく、人と人の信頼感で成り立っているキャリア・コンサルタント協同組合のすばらしさでした。

3. 結び

今回の投稿に当たり、言葉を選んでいるうちに出てきた文章は結局、仲間の皆様とお客様への感謝の経験談でした。

私と曲がり角で出会う際、突然現れた巨体にドキッとされる皆さんも多いかと思いますが、少しでも衝撃を緩和できるよう、いつも笑顔でいたいと思います。

本年も旧年に変らずお付き合いの程、よろしく願いいたします。

7. 2022年の新年ひと言

組合員・監事 中野 忠

平成16年4月にキャリア・コンサルタント協会として入会してから18年目を迎えました。そして平成30年3月に組合員となり、令和2年の総会后監事となり、毎月の理事会では議事録作成に四苦八苦していますが、今後もCCKの一員として協力していきますので、よろしく願いいたします。

以 上

8. 「アパッチ砦 Fort Apache 1948」

元日立ビルエンジニアリング(株)常務 小泉幾多郎

ジョン・フォード騎兵隊三部作の第一作。軍人の精神の鑑として扱われていたカスター將軍の第七騎兵隊全滅の事件を、カスター將軍の方に非があったとおそらくは初めて批判的な眼で扱った作品。これ迄は、ラオール・ウォルシュ監督「壮烈第七騎兵隊 1942」のようにもっぱら軍人精神の鑑というような角度から扱われていたのだ。どうやら何か問題を起こし、責任をとらされたか、アパッチ族との抗争が絶えない辺境の地に左遷させられたサーズディ中佐（ヘンリー・フォンダ）は、アパッチ族を掃討し、呼び戻されることを望み焦りの気持ちに陥っていたのだった。例によって、モニュメントバレーの中を砦に向かう駅馬車の疾走シーンから始まる。

赴任する中佐とその娘フィラデルフィア（シャーリー・テンプル）とが乗っている。其処に。その娘と懇意になった士官学校卒のオローク大尉（ジョン・エイガー）も赴任のため馬で一緒する。好きになったフィラデルフィア 俗称フィルが父の眼を盗んでコンパクト鏡で馬上のオロークを眺めるのが可愛い。途中の中継所で軍曹たちが出迎え、当然中佐のためと思いきや、電信不通で連絡がなく、自分でなく大尉の出迎えと知り愕然とする。それでも軍曹たちの執り成しで、砦に到着、懇意だったコリンウッド大尉（ジョン・オブライエン）やヨーク大尉（ジョン・ウエイン）と対面、引継ぎは問題なく終わる。

オローク大尉の父は軍曹（ワード・ポンド）、母はフィルの亡くなった母と懇意だったこともあり、フィルはその一家と直ぐ打ち解け、オロークとの仲も深まる。名刺交換は日本の慣習とばかり思っていたら、当時の軍隊では初対面で名刺を渡すことが義務づけられていたとは驚き。父より息子オロークの方が位が上、仲間のマルカーヒー軍曹（ヴィクター・マクラグレン）たちに、息子の上官としての訓練ぶりを聞くところ等微笑ましい。その後、騎兵隊の輸送馬車が襲われたりした頃、フィルとオロークが遠乗りに出掛け、父の中佐に大目玉を食う。中佐は家柄の違い等を理由にして二人の交際を禁止する。

騎兵隊とインディアンの抗争の一番の理由が、インディアンに連発銃や酒を売りつけていたミーチャム（グラント・ウエザース）という男。そもそも政府の官僚でありながら、インディアンを墮落させ追い詰める裏工作を行っていた。ミーチャムを捕えた中佐は、ヨーク大尉からインディアンの有力者コチーズと話し合うことを提案され、ヨーク大尉は通訳の部下ビューフォート軍曹（ペトロ・アルメンダリス）を連れて、白旗を掲げコチーズの許へ。コチーズはスペイン語を操ることの出来る知的で高邁なる人物で、コチーズとは和平が成立したものの、その約束にも拘らず、中佐は連隊全員を招集し強襲すると言い出す。

アパッチ族の罠に気づかない中佐は出動を命ずるが、ヨーク大尉は反対し、抗命の理由で、任を外される。中佐は全軍を率いて突撃するが、重囲に落ちて全滅してしまう。誤った一人の上官の命令に従わざるを得ず、あたら命を失ったかつての日本軍にも思いを馳せざるを得ない。アパッチの攻撃に備え十数人の兵士たちが銃を構え、めいめいがポーズをとり、滅びゆく一隊の悲愴美を漂わせる様。冒頭からのモニュメントバレーを疾走する駅馬車、馬上で駆け抜ける二人の男女の姿、騎兵隊の出発、皆でそれを見送る妻たちの顔等々、人間たちと巨大な西部の自然との溶け合いによって造形された風景。これらはキャンバスに描かれた絵のように美しい。西部に住みこの地を愛しその風物を描き続けたフレデリック・レミントン（1861～1909）という画家がいたそうで、ジョン・フォードはこのレミントンの絵を愛していたという。映画制作にあたり、レミントンの絵のような映画にしたかったと語ったと言われている。モニュメントバレーを愛していたが、その中の人間のいる西部の風景を愛していたと言えるようだ。

後日、新任の隊長として、記者会見に臨んだヨーク大尉が言う「我が隊の士気は以前より高い。これはサーズデイ中佐の功績だ。」この言葉で、中佐の偏屈さは、軍人精神の正義の守護神として入れ替わってくれたのだった。ヨーク大尉の機転で、後方部隊で生き延びたオローク大尉はフィルと結婚し子息にも恵まれる。蛇足になるが、現実には、映画の3年前に、ジョン・エイガーは妹の同級生であったシャーリー・テンプルと結婚していたが、有名人テンプルの夫という重圧から、酒に溺れ、結婚後5年で破局している。「黄色いリボン」以降、それでも低予算作品、TVドラマ等へ出演し、81歳まで生きた。テンプルは、ご承知のように、子役時代からの映画界キャリアも凄いが、後半生30年に亘り外交等の公職を歴任したのだった。

(つづく)

9. 戦後の食料難

田園 中児

昭和20年（1945年）10月縁故疎開先から雪ヶ谷の自宅に戻ると、大森で戦災によって焼け出された父親の兄家族が、住んでおり急に大家族での生活になった。戦争末期から食料事情は悪化をたどり、その年の日照りによる米作の不振と、外地からの引揚者、それに復員兵が重なり、食料難は深刻になっていた。

コメは玄米のまま配給され、一升瓶を足で挟み、中のコメを棒で突っつき、糠を剥いて七分づきにしてご飯にした。おコメの量はわずかで、お粥にして禪をした押麦や大根の葉っぱ、芋類等を混ぜたものであった。「すいとん」は上等な食べ物であり、有難く頂いたし、サツマイモの茎の油炒めが御馳走であった。

食糧難は敗戦後にひどくなり、学校の校庭や家庭の庭はもちろん、庭の無い家では、道路の端を耕し畑にして食料扶持に充てていた。我が家では父親の経営する軍需工場は閉鎖され、その跡地が畑となり、毎日のように通わされ、そこで野菜の種類やその種まきと収穫の時期を覚えることが出来た。

その中で、サツマイモ畑での思い出がある。それは収穫期になると葉と茎をもって引き抜くと芋がぶら下がっているのが、普通であるが、中には芋が無いのがある。それは芋泥棒が畝の端に手を入れ、芋だけを盗むのである。これは「さぐりいも」と言われ夜中に芋を盗むのである。

小麦粉はもちろん不足しトウモロコシ粉を、自家製のパン焼器で焼いて、黄色いパンにして食した。何故かグリーンピースだけは豊富にあり、そのまま茹でたり、色々なものと混ぜて主食にした。栄養失調は当たり前前の生活であった。

米国は EROA（領地経済復興援助基金）と GARIOA（占領地域救済基金）によって日本の国民に食料援助を行った。その食料とは脱脂粉乳・家畜用のトウモロコシ・グリーンピース等である。

昭和20年の年末になると夕方の東京の主要駅で、アメリカ兵が集まり、日本人が持っているアメリカ人の喜びそうな品物とタバコ（ラッキーストライク）やチョコレートそれにガム等と交換していた。甘いものに飢えていた者にとっては、大変有難いことであった。

また昭和21年頃と思うが、小学生の私達は学校のそばの土手の上を走る品鶴線（戦時中の秘密線、現在の横須賀線）を通る列車の窓やデッキから、米国の兵士がチョコレートやチューインガムを投げるのを喜んで拾った。兵士の乗った列車が通る時刻を誰かが調べてきたのである。手を振ると喜んで投げしてくれた。

（つづく）

10. 事務局だより

事務局

- 新年明けましてオメデトウ御座います。旧年中は色々とお世話様になりました。ここ2年間はコロナでの明け暮れでした。年末にはコロナも一時下火になり、組合でも「忘年会」(ヒナタガーデン)を開催し、組合会議室での「納会」「賀詞交歓会」が行われ何れも17~18人の出席で、久しぶりに賑わいました。幹事である宮坂理事と影山さんにはご苦勞をお掛けしました。有難う御座います。
- 常務理事・事務局長の平松靖弘氏は病氣療養中のところ、12月末日をもって辞任届が提出され、12月21日の理事会で承認されました。その理事会で後任の事務局長に理事・宮坂武彦氏が就任されました。早速、「納会」「賀詞交歓会」ではその責務を全うされました。今後の活躍が期待されます。尚、平松氏は引き続いて事務局のお手伝いをする事になっています。
- 新事務局長の就任に伴い、組合の定款を初めとして各種規約・規定・規則・細則等の整合性を含めた改定作業が始まっています。制定時による言葉使いの違いがあり、統一性が無く、余分な字句や欠落等がありそれらの修正も行う予定です。次回の総会(5月27日)までに間に合うように作業を進めています。
- 事務局では稼働中のパソコン8台の内、4台を新規のパソコンと入れ替えました。これは古くなったのと「ウインドウズ11(イレブン)」に対応させるためです。設定はこれからですが、使いこなすまで時間がかかりそうです。
- 1月の行事等の予定
 - 6日(木) 賀詞交歓会(14:00)
 - 7日(金) BCセミナー(MK2)①(10:00)
 - 9日(日) BCセミナー(経戦2)③(10:00)
 - 11日(火) 運営会議(10:00)
 - 12日(水) 営担会議(10:00)・貿易実務会議(13:00)
 - 13日(木) BCセミナー(MK2)④(10:00)
 - 14日(金) 日本板ガラス Web 会議(11:00~12:00)
 - 15日(土) BCセミナー(ロジ2)①(10:00)
 - 16日(日) BCセミナー(経戦2)④(10:00)
 - 17日(月) BCセミナー(MK2)④(10:00)
 - 18日(火) 理事会(13:00)

- 19日（水）貿易実務会議（13：00）
- 20日（木）BCセミナー（MK2）④（10：00）
- 21日（金）輸出力強化審査会（リハーサル）（13：00）
- 22日（土）BCセミナー（ロジ2）④（10：00）
- 23日（日）BCセミナー（経戦2）⑤（10：00）
- 24日（月）BCセミナー（MK2）⑤（10：00）
- 25日（金）輸出力強化審査会（リハーサル）（13：00）
- 26日（水）営担会議（10：00）輸出力強化（リハーサル）（13：00）
- 27日（木）BCセミナー（経戦2）③（10：00）
- 28日（金）テレワーク協会打合せ（13：00）
- 29日（土）BCセミナー（ロジ2）⑤（10：00）
- 30日（日）BCセミナー（経戦2）⑥（10：00）

● 2月の行事等の予定

- 2日（水）貿易実務会議（13：00）
- 3日（土）BCセミナー（経戦2）④（10：00）
- 4日（金）輸出力強化審査会（リハーサル）（13：00）
- 5日（土）BCセミナー（ロジ2）⑤（10：00）
- 6日（日）BCセミナー（経戦2）予備（10：00）
- 7日（金）BCセミナー（MK2）⑥ 輸出力強化審査会（13：00）
- 8日（火）運営会議（10：00）
- 9日（水）営担会議（10：00）・貿易実務会議（13：00）
- 11日（金）BCセミナー労務3 ④
- 12日（土）BCセミナー労務3 ④
- 13日（日）BCセミナー労務3 ④
- 15日（火）理事会（13：00）・研修の集（15：00）
- 22日（水）貿易実務会議（13：00）
- 24日（木）営担会議（10：00）

一粒万倍

- ▼「アケオメ」「コトヨロ」。これはケータイ時代の新年の挨拶でしたが、スマホ時代の現在では、既に死語になってしまいました。今年のお正月は、関東地方では穏やかな新年となりましたが、北日本や雪国では暮れから寒波と豪雪に見舞われた年明けとなりました。地球儀で見ると小さな日本ですが、表と裏では大きな違いがありますね。
- ▼ところが6日になり発達した南岸低気圧が寒気を呼び込み、南関東も大雪に見舞われ、東京でも10センチの積雪（雪国から見ればたった）となり、折からの「賀詞交歓会」が凶らずも「雪見酒」となりました。一粒氏も帰宅途中、歩くのを止めてタクシーやバスを待っても来ず、結局最寄りの駅から20分かけてゆっくりと歩く始末となりました。
- ▼今年にはコロナの三年目となる。岸田文雄首相の年頭の挨拶で「オミクロン株」への警戒心を述べていました。コロナ第六波の事実上の始まりとされます。昨年後半に緩んだ気持ちをもう一度締め直す必要を感じます。年末年始のような「蜜」を避け出直す必要がありそうです。それに従って、今年には「テレワーク」や「リモート会議」が更に進んで、人間関係の係り方も変わってくるでしょう。
- ▼1月7日政府は、沖縄・山口・広島に再び「まん延防止等重点措置」の適用を決定しました。期間は9日～31日までで、コロナ第六波として初めてです。これは「日米地位協定」の影響が大きいと思われます。この協定によって米軍基地は米国の管轄下に置かれ、日本の行政が手を出せません。基地の米国人は日本の法令や条例に関係なく出入りが自由で「ワクチンの接種」や「PCR検査」なしで入国できます。これらの米国人が基地外の繁華街に出歩いています。特に沖縄ではこの傾向が強かったようです。

編集後記：*今月号は協同組合の役員から多くの新年の挨拶と抱負を戴きました。紙上を借りてお礼を申し上げます。有難う御座いました。*今年には寅年、後半に向かって景気も上昇するようですが、正月に栃木県の「那須サファリーパーク」で飼育員がベンガルトラに噛まれ、右手首を失うという事故が発生しました。猛獣は人間の及ばない獰猛さを持っています。恐ろしいことです。*今年もコロナコロナの様子で、マスク・うがい・手洗い・手首の消毒を励行し、蜜は避ける生活が続きます。